

THE ROTARY CLUB OF CHOSHI

銚子ロータリークラブ会報

国際ロータリー第2790地区

創立 昭和32年3月23日

RI承認 昭和32年4月15日

会長 宮内 秀章

副会長 田中 英子

幹事 寺内 忠正

会計 常世 田祐一

2019-2020年度 RI会長テーマ

ロータリーは世界をつなぐ

ROTARY CONNECTS THE WORLD

RI会長 マーク・ダニエル・マローニー



例会日時 毎週水曜 12:30～

例会場 銚子商工会館5階大会議室

事務所 銚子市三軒町19-4

銚子商工会館4階

電話 0479-23-0750

ファクス 0479-25-8789

E-mail rotary@choshinet.or.jp

URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~crc/>

第3062号(2019年10月23日発行)

今週のプログラム

「移動例会」

会場：ヤマサ醤油(株)見学センター

昼食：12：20～12：40 味わい体験館

点鐘：12：45 見学センター

卓話：「時代を超えて存在価値のある企業へ」

(映画上映)

ヤマサ醤油(株) 大久保 貴史 様

閉会点鐘 13：30

例会終了後、工場見学(約40分間)

前回例会報告(10月16日)

点鐘：宮内 秀章会長

ロータリーソング：それでこそロータリー

四つのテスト唱和

ビジター紹介

NPO 法人日本 IT イノベーション協会

理事 大串 結子様

会長挨拶



皆さん、こんにちは。先週の台風19号、銚子にも避難勧告が発令されましたが、お怪我や被害の方は大丈夫だったでしょうか。今回の台風、千葉県には追い打ちのようにやってきて、また更に広い地域が被災地となり、自然災害の怖さを改めて感じさせられました。被害に遭われた方々には心からお見舞い申し上げます。そして一刻も早い復旧をお祈りいたします。

本日は、特定非営利活動法人 日本 IT イノベーション協会大串結子様ようこそお越し頂きました。後ほどお話しの方よろしくお願ひ致します。

さて、今月は米山月間と共に、経済と地域社会の発展月間でもあります。先週お配りいたしましたロータリーの友に、「地元の商店街を元気に」のテーマで、福岡県北九州市の若松RCのプロジェクトが紹介されておりました。

内容は、子供のころ週末になると祭りのようににぎわう商店街は、今では下りたまのシャッターが目立ち、寂しくなってしまう、以前の活気を取り戻そうというものです。このようなことは実際に我々の住む街、銚子でも例外ではありません。若松RCでは、商店街の一角にうどん店を開店して、ただ物を売るというだけでなくコミュニティスペースを設置し、提唱する若松高校インターアクトクラブの生徒たちと協力し、色々なイベントも行っているそうです。

我々ロータリークラブの大きな柱の一つ、職業奉仕においても地域社会の経済発展は、重要であり、人口の減少は大きな影響を与えます。

銚子市の人口も今年の8月1日現在では、およそ60,700人と減少をたどり、来年には6万人を割り込むのではないかと危惧するところであります。また私もそうですが銚子市の内需をメインとする仕事において、パイの縮小は後に大きな影響をもたらす死活問題に発展していきます。また、人口減少の問題は銚子市だけではなく全国的な問題でもあり、ネガティブなことだけを言っているわけにもいきません。魅力ある街づくり、活力ある街を目指して行かなければならないと考えます。

単年度制のロータリーの場合、若松RCのよう



第2790地区
ガバナー 諸岡 靖彦 (成田RC)

広報・会報委員会
委員長 石毛 英俊 副委員長 山崎 芳樹
委員 大岩 將道

な事業は多くの弊害があり、現実的には非常に難しいと思いますが、我々も地元銚子にもっと目を向けた地域活動、貢献活動の範囲を見直し、斬新なアイデアが必要な時代になってきたのかなと感じました。

幹事報告

【週報拝受】小見川RC、佐原香取RC

1. コーディネーターニュース2019年11月号のご案内
2. 地区寄付リポート
3. 行動規範の改定について
4. 第7回日台ロータリー親善会議福岡大会開催通知ならびにお取り纏めのお願い
…ガバナー事務所
5. ハイライトよねやま235
…公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

会員の記念日

結婚記念日 信太 秀紀会員(10月10日)
創業記念日 宮内 秀章会員(10月10日)

ニコニコBOX

◇大ニコニコ信太秀紀会員

去る10月4日無事初孫が誕生いたしました。2600gのかわいい女の子です。名前は心(こころ)に太陽の陽(よう)と書いて『ここは』と読みます。これで私もおじいさんの仲間入りです。みなさまよろしくお願ひいたします。というわけで大ニコニコです。

◇大ニコニコ宮内秀章会長

10月11日に開催されました銚子法人会第26回チャリティーゴルフ大会にてハンディに恵まれて優勝することが出来ました。ますます精進してまいります!!

◇松本恭一会員

台風19号が上陸した先週土曜日避難がてら太陽の里別邸海と森に宿泊し、快適に過ごすことができました。

卓 話

「誰も経験したことのない大きな変革に向けて
稼ぐ力を地域の力に地域活性化の真髄とは」
NPO法人日本ITイノベーション協会
理事 大串 結子様

皆様はじめまして。只今淵岡様よりご紹介に預かりました、特定非営利活動法人日本ITイノベーション協会大串でございます。本日はお招きを頂きまして誠にありがとうございます。短い時間ではございますが、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

私共は、行政と民間企業、また大学機関等の教育機関を結ぶハブ機能を欲する声の高まりにより、事



業型のNPO法人として2002年に発足を致しました。発足当時から、場所や規模、業種を問わず、様々な企業様の裏方として伴走ご支援を行い、また時に公共事業の設計から実務運用までを担わせて頂いて参りました。その後、地域創生本部の設置により、国を挙げての地方創生活動が活発になって参りました。現在も、インバウンドを含めた観光客の誘致、地域産業や製品の域外販売などを含め、地域における仕事の創造・雇用の創出が求められています。

これらの分野において、私共はイノベーション・ポイントを発見し、もっとも効果的な問題解決策を提示し、本質的な問題解決に取り組むことにより、各企業・地域における収益の向上と雇用の創出に資するよう、努めてまいりました。

現在の日本は、少子高齢化、老人医療、社会福祉制度、環境問題、資源問題、正規・非正規雇用や失業問題など、様々な課題に直面しております。

他方、日本経済は世界の中にあり、その動きは加速度を増し、変化しています。経済大国第3位にある一方、長きに渡り停滞している一因は、この変化の加速度へ追いつけていないためと言われてい

ます。これらのことから、今、可及的速やかに必要なことは、日本経済において、東京一極集中ではなく、地域経済が自立すること、即ち、埋もれている地域資源・地域資産の調査・発掘と共に、可能性のある地域資源・地域資産を基にした業を起こし、結果として地域企業の収益向上を図ることが、必要不可欠と言えます。

そのためには、俯瞰の視点と、本質的な情報を理解したうえで、大きく捉えすぎることではなく、地域社会を分解し、エリアと人の特性・属性を踏まえ「サステナブル(sustainable)社会」(持続可能な社会)について地元経済(経営者)の力も絡めながら、形成していく必要があります。過去の栄光は、必ずしも未来の繁栄に直結しないのが今の社会となります。

ここで、地域活性化の「真の核」とは、メディア等で様々なことを言われておりますが、実際のと

ころは次の2点が本当の核となることを、皆様にお伝え申し上げたいと思います。

●埋もれている地域資源・地域資産の調査・発掘と共に、可能性のある地域資源・地域資産を基にした業を起こし、結果として、継続的に地域企業の収益向上を図ること

●関係人口の増加⇒20～40代の出産年齢にある女性人口の増加

この核を見失い様々な事柄を行ったとしても、それは表層的な施策・一過性の取り組みになってしまいます。

この2つをしっかりとらまえて臨むためには、地域の人財教育も必要ですが、何もしていないケースが多々見受けられ、他方成功されている地域においては、必ず人財育成を行われています。

ここで人財育成とは意識改革という趣旨でもありますが、外国人を含め、従前の地域文化と異なる文化を持つ方の居住や雇用など、多様な文化を受容する心と、若者の能力を引き出せる環境を作りつつ、地域の眠っている経営資源を見出すという両側面が必要となります。

また、地方創生・地域活性は、基本は国がどうかしてくれることではなく、自分たちでデータを集め分析し研究することが重要になります。国からの補助金をもらい従来のことを行っているところと、自分たちで考え取り組んでいるところでは、明らかに差が開いております。

よって、地域活性化のためには、民間企業から立ち上げていくことが必要であり、その先には、民間と自治体が対等であることが必要となります。

ここで、本の数例ではございますが、地域活性化に成功している事例のお話を申し上げたいと思います。

1つ目は、自然資産を活用したニューツーリズム事業及び関連商品の開発・販売事業です。これはいくつかの事業者様が共創の理念を持たれ、お取り組みになられました。地域の自然資産というと皆様はどのようなものを思い起こされるでしょうか。わかりやすいもので申せば温泉が当たりますが、それ以外でも、皆様にとられましては当たり前の事柄が、他から見ると工夫をすることで大変魅力的な地域の資産になって参ります。

この事例では、働く女性をターゲットにしたものとして「美肌」をコンセプトとした3湯めぐりのプランを開発され、SNS等を活用して広報設計も行われました。結果、ツアー発表後2日目で満席となり、その後も季節ごとの企画を設けて継続的に運用、事業収益も上がり、周辺企業の収益や地域における新たな業や雇用が生まれ、地域の活性化に至られています。また、インバウンドにも着目、体験型プログラムの開発に注力され、また、泊食分離、長期滞在できる環境の整備を行われたこ

とにより、諸外国の旅行者が継続的に訪れる施策を実施されました。英語ガイド養成講座も実施され、観光分野で稼ぐ仕組みを強化することで地域活性化に寄与された事例です。地域の資源を見直すと共に、それまでは業界に関わりがなかった異業種企業様も含めて、地域企業様間での連携が強化できたことも、成功の要因となっております。

2つ目は、林業・農業のIoT利活用・再生事業です。これは、IoTを用い首都圏を含めた若者世代を活用され、その後、首都圏にある企業のサテライトオフィスを誘致されることにより関係人口が増加、林業・農業だけではなく、関係人口の受け入れに伴う周辺事業の発展にも繋がられました。今、林業・農業とIoT技術の融合は大変注目をされており、首都圏の企業からは、その連携先開拓を欲する声が多く出ております。ここで「関係人口」とは、その地域に仕事等で多く携わる方たちのことを申しますが、地域活性化における重要な視点として、地域外の人材が、特定分野のプロフェッショナルとして、地域づくりの担い手となり、街づくりや稼げる仕事(産業)の創設等に寄与するものとなっております。

3つ目は、女性・若者を巻き込んだ人材育成からの新産業起動、教育産業の発足です。

事業発足当時、地域に域外マネーや外貨が落ちる仕組みや「稼ごう」という人がいなかったため、ある方が、強く危機意識を持たれました。また、人口減少は否めない中、それに歯止めをかけるという発想ではなく、人口減少に「対応する」という発想で取り組むことが重要と考えられました。

そこでまず、地域の経営者の方々が、知識や情報を得ること・学ぶことが必要と考えられて、異業種交流を促しながら、地域資源を活用し新たなビジネスを生み出すためのプラットフォームを設計・設立、地域外からの力も得つつ、地域企業の経営者が学び合い業を創り収益を向上させるために議論をする構造を創られました。

そこから、新たな視点を基に業を発足、例えば、地域資源+観光+健康+人を組み合わせたモデル等を創り上げられ、IoTについても敬遠をするのではなく、学ばれた上で、場合によっては自らが実施され、あるいは適正な業者を選定し積極的に活用されて情報の発信を行われました。このとき、女性や若者の視点にも着目、地域大学にも参加を促して、新たな仕事も創出されました。

これに関わられている経営者の方々は一様に、人材研修を受けて、情報を正しく得、考え、詳細まで練って戦略を立てることの重要性がよくわかった、とおっしゃっています。

このほかにも、様々なプロダクトの可能性を見出しながら、問題の発見とその解決手法を業の手掛かりとされ、人財の育成とマネジメントを常に

意識されることが、地域の活性化には必ず必要になります。

今、VUCAの時代と言われています。だからこそ、問題の発見は新業態・イノベーションポイントになり得ます。

ここで、仕事の本質は大きく変わっていないけれども、その形式は大きく変わっていることに目を向ける必要があります。

地方創生・地域活性とは、その地における企業の、現業を含めた業のイノベーションにあります。

繰り返しとなりますが、地域活性の手法としては、以下の3つを最後に申し上げさせていただきます。

・外からの観点で地域(個社事業)を調査・分析・解析し、ビジネスの源泉となるものを発掘・改善点を洗い出すこと。個社既存事業も含め、地域に埋もれ眠っている地域資源・地域資産を起こすことも必要。

・地域外からのパワーを効果的に投入。モデルやプランのみで投資を図るのではなく「真の情報」を基にして、持続継続性のある(サステイナブルな)「業」への投資を図ること。

・地域内の情報を、外へ可視化・発信すること。このとき、目先のこと・派手さなどではなく、効果性を考え、手法を選別し「刺さる情報」を拡散すること。

上記3点を申し上げまして、本日の私のお話を終えさせていただきます。短い時間の中、駆け足のお話となり失礼を致しました。ご清聴ありがとうございました。



マルチプル・ポールハリス・フェロー表彰



島田洋二郎会員 大岩將道会員 宮内清次会員
(マルチ4回目) (マルチ6回目) (マルチ2回目)

【出席報告】

会員総数40名 出席計算37名

出席26名 欠席11名

出席率70.27%

欠席者：石毛充君・泉君・木曾君・村田君
永澤君・佐藤君・須永君・山崎君
鈴木君・富永君・高橋宏明君

【M U】

10/15 銚子東RC 大里君

10/21 地区ゴルフ大会

宮内(龍)君・宮内(秀)君・寺内君

【ニコニコ】

ニコニコBOX	¥24,000	計	¥234,000
スモールコイン	¥2,500	計	¥16,410
米山BOX	¥—	計	¥16,250
希望の風	¥—	計	¥96,000

※台風15号被害支援 例会募金を地区へ送金しました。ご協力有難うございました。

社会奉仕委員長 神津 裕之

次週(10月30日)のプログラム

「暗闇に迷った私に届けた光」

元米山奨学生

太陽光エネルギー営業所

所長 鳥日楽 瑠様

お弁当：京華苑(中華)

11月 12月 例会プログラム

11月 R財団月間

6日 「高校教育の現状と本校の取組」

銚子市立銚子高等学校長 伊藤 政利様

13日 「地区委員長月間卓話」

地区奨学生・学友委員会委員長 沢田克洋様

(成田コスモポリタンRC)

20日 「未定」 泉 英伸会員

27日 「新入会員卓話」 多部田恵子会員

12月 疾病予防と治療月間

4日 年次総会 卓話 調整中

11日 「未定」 村田 等会員

18日 夜間移動例会 太陽の里点鐘18時

クリスマス家族親睦会

25日 定款第7条第1節(d)により休会

2020年1月1日

定款第7条第1節(d)により休会